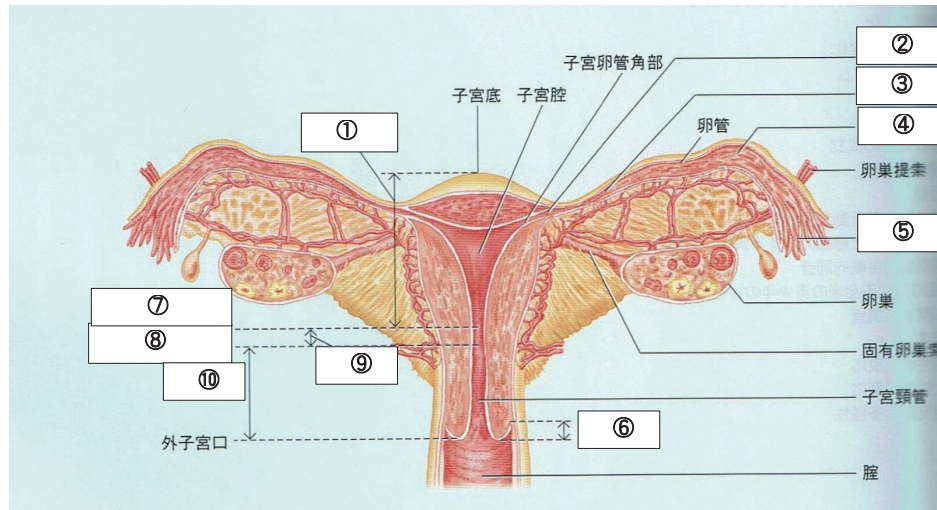


# 母性看護学実習Ⅰ 課題Ⅰ

**課題提出期限  
4月16日【必着】**

学籍番号		<b>結果</b>	<b>点</b>	( )合格
氏名				※60点未満再提出

【設問1】下図は女性生殖器の断面図である。番号のある部位の名称を答えよ。



①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

【設問2】切迫早産の病態生理や症状、予後に関する記述である。( )内に適切な数字や語句を書き入れ、文章を完成させよ。

妊娠( )週以降、( )週未満に定期的に( )を認め、( )の熟化・短縮、( )を伴うものを切迫早産といい、分娩に至るものを( )という。

自然早産の原因としては、前期破水、( )が最も多い。

早産は全分娩の約( )%に認められる。妊娠 28 週未満の超早産では児の( )のため、新生児の予後が不良となることがある。

症状としては、定期的な( )と( )が認められる。前期破水がある場合は、( )も起こる。

診断は、1時間に6回以上の( )、子宮頸管の( )、破水の診断、炎症所見の評価を行う。

絨毛膜羊膜炎の診断基準として、母体の( )℃以上の発熱に加えて、母体頰脈、子宮の( )、膣分泌物や羊水の( )、白血球数( )/μL以上となれば確定診断される。なお、発熱は見られなくても診断される。その他、頸管粘液中の顆粒球( )の上昇、( )がみられることも診断に役立つ。

【設問3】1.特定妊婦の定義を記述せよ。また、根拠となる法律名を記せ。

定義：  
  
法律名：

2.切迫早産の治療は安静と薬物療法である。安静の効用について看護の視点で記述せよ。

【設問4】下記治療薬の目的と副作用等について表を完成させよ。

分類	一般名	商品名	作用	副作用
切迫早産治療薬	リトドリン	ウテメリン	( )受容体に対する	( )
	塩酸塩	ルテオニン	選択的刺激作用	( )
	硫酸マグネシウム	マグセント	Mg が細胞内遊離( )を減少させ、( )を抑制する	全身倦怠( )
他に、早産最大の原因である( )の治療として、セフェム系( )、カルベペネム系( )が使用される。				
また、( )のため、妊娠 22 週以降( )週未満早産が( )週間以内に予想される場合は、( )を使用する。				
児の肺成熟の判定のため( )テストを実施することもある。				

【設問5】次の事例を読み、1)～6)について答えよ。

対 象：A氏 20歳 女性 大学生

診 断 名：妊娠31週6日 切迫早産 初妊婦

既 往 歴：なし

家族構成：母親は四国在住 大学生になり都会に出てきた 未婚 パートナー(大学2年)と同棲中

妊 娠 歴：妊娠は初回 月経周期28～32日

今回の妊娠経過

身長168cm 体重58kg(非妊時) 妊娠初期に月経がないことに気づき妊娠検査薬で検査し、妊娠は知っているが、妊婦健診には一度も行っていない。彼は妊娠を知った後、家を出ていった。中絶も考えたが、怖くて病院に行けなかった。大学ではバドミントンの部活動は休んでいる。妊娠29週になり、時々腹部緊満を自覚、心配になり近くのクリニックを受診した。

妊娠31週6日

Hb11.1g/dL 随時血糖89mg/dL 感染症(-) 尿蛋白(-)尿糖(-) 子宮底長27cm(2週前より2cm増加) 体重64.5kg(2週前より+0.4kg) 排便1回/日 「赤ちゃんが動くとお腹が張る。横になっていると治まる」 性器出血少量 子宮頸管長40mm 血圧120/60mmHg 超音波検査で胎児の体重は推定1300g NST検査で胎児心拍数146～154bpm/分 基線細変動あり 一過性頻脈も20分に2回みられている 腹部外診で子宮底部に浮球感なし 母体の左側に児背が触れる 「できたら赤ちゃん産みたい。でも一人で育てていくのは難しいですね。四国の母親はこのことを知らない。心配をかけるので、言うのに勇気が要る。学業は続けたい。バイトをしていたが、お腹が大きくなってから休んでいる。お金も厳しい。」靴はスニーカーを着用。NST検査で子宮収縮が15分毎にみられている。

妊婦健診で、切迫早産との診断で入院となった。入院後塩酸リトドリンの持続点滴が開始された。

翌日、「お腹の張りずいぶん楽になった。1時間に1回くらい張る。出血は褐色のものがほんの少しになった。彼氏に一度連絡してみようかと悩んでいる。」と話している。

次の視点で入院翌日のA氏のアセスメントをせよ。

- 1)妊娠週数に応じた身体の変化であるか、妊娠経過に影響を及ぼす因子はどうか、身体の変化に応じたセルフケア行動がとれているかを述べよ。

妊娠週数に応じた身体の変化

妊娠経過に影響を及ぼす因子

セルフケア行動はとれているか

2)胎児の数と胎位・胎向はどうか、妊娠週数に応じた胎児の発育であるかを述べよ。

・胎児の数( )胎

・胎位胎向( )

・胎児の発育は

3)心理状態はどうか、母親への適応過程はどうか、心理・適応過程に影響する因子はどうかを述べよ。

・心理状態

・母親への適応状態

・心理・適応過程に影響する因子

4)家族関係はどうか、新しい家族関係への適応過程はどうか、協力関係はどうかを述べよ。

・家族関係

・新しい家族関係への適応過程

・協力関係

5)生活環境はどうか、社会資源・諸制度を活用できるか、就労・社会活動はどうかを述べよ。

・生活環境

・社会資源・諸制度の活用

・就労・社会活動

6)A氏への看護の方向性を述べよ。